

立憲民主党

The Constitutional
Democratic Party of Japan

No.2
2018.9

立憲民主党 長崎県連合

〒856-0805 長崎県大村市竹松本町859-1

☎ 0957(46)3788 FAX(46)3789

Email: info@cdo-nagasaki.jp https://cdo-nagasaki.jp/
(発行責任者) 山田 勝彦



▲設立大会にかけつけた
福山哲郎幹事長

立憲民主党はあなたです。 あなたも立憲パートナーズに。



▲山田勝彦代表とガッチリ握手

2018年
8月30日

設立大会



長崎県連合誕生

全国32番目の県組織として

7月22日、350人が結集した枝野幸男代表との「タウンミーティングin長崎」。その場で準備会を代表して山田勝彦は「先の衆院選で約9万7千の県民が比例区に立憲民主党と書いてくれました。この方々の政治変革の想いを共有できる受け皿をつくりたい」と訴えました。それから1ヶ月後の8月30日、同じ長崎新聞文化ホールで全国32番目の立憲民主党の県組織として「立憲民主党長崎県連合」が産声を上げました。

設立大会には約130人の仲間が参加し、本部から福山哲郎幹事長がかけつけ、「全国32番目の県連としての設立を歓迎するとともに、これまでの政党と違うボトムアップ形の新しい政治組織を作りましょう」と激励しました。来賓に「連合長崎」の宮崎辰弥会長や国民民主党長崎県連の渡辺敏勝幹事長、社会民主党長崎県連の坂本浩幹事長が友好団体としてかけつけ、「国民一人ひとりを大切にして、自民党

に代わる政権交代を実現していきましょう」と連帯あいさつをいただきました。

全議案承認後、福山哲郎幹事長との対話集会を開き、参加者からの質問に対して「安倍政権と対峙するためには、自民党や官僚による欺瞞の内容を明らかにするとともに、明確な対立軸を国民一人ひとりに示す必要がある」「一握りの金持ちの為ではなく子育て、教育、保育、介護などの職場で働く人々の生活環境を良くする予算の使い方を実現するべきだと思う」と述べ、今までと違うボトムアップ形のパートナーズを核とした新しい政治形態の構築が必要です。共にチャレンジして行きましょうと訴えました。



▲来賓としてかけつけた団体の方々

立憲民主党長崎県連合

設立宣言

日本社会は危機の中にあります。分断と排除の政治が行われ、立憲主義が壊されています。社会の多様性が脅かされ、国民の大切な情報が隠蔽されています。一握りの人たちがトップダウンで物事を決めてしまう、傲慢な政治が横行しています。

政治は、政治家のためでも政党のためでもなく、国民、県民のためにあるものです。今の政治に怒りや危機感を持つ、多くの国民の声に応え、政治の流れを転換させたい。この国に暮らす多様な一人ひとりととの対話を通じて、誰もが自分らしく生きられる社会をつくりたい。

この決意を持って、私たちは、本日、立憲民主党長崎県連合を設立します。国民、県民のみなさんの日常の暮らし、現場のリアルな声に根ざした、ボトムアップの政治を実現する。それが私たちの描く、日本と長崎の未来です。

右でもなく左でもなく、前へ。

2018年8月30日

2019年統一地方選挙 候補者募集

■応募対象議員選挙 ■ 長崎県 県議(長崎・大村市選挙区を除く全選挙区)/佐世保・島原・大村の各市議/長与・時津・東彼杵・川棚・小値賀の各町議

■応募資格 ■ 選挙期日において満25歳以上で、当該選挙での立候補資格を有すること。立憲民主党の党綱領及びそれに基づく政策に賛同し、その実現に向けて共に活動できること。

■提出書類 ■ 〇履歴書・経歴書 1通(写真を必ず添付)
〇小論文(自由形式で2000字以内/下記の内容への回答)

今回の募集への応募の動機/立憲民主党で立候補を希望する理由/希望する選挙・選挙区で立候補する理由/これまでのNPO活動、市民活動や地域での取り組みなど/その他、推薦状・ピラ・リーフレットなどは自由に添付
※提出書類は、自筆・パソコン(入力)プリントは問いません。
※提出書類は返却しませんので、ご了承をお願いします。

■提出方法 ■ 郵送での提出のみとします。上記の提出書類を、封筒おもてに「公募書類在中」と朱書きの上、郵送にて下記まで提出してください。※郵送は、追跡可能な方法(簡易書留、レターパックなど)をお願いします。

《書類提出先》
立憲民主党長崎県連合
〒856-0805 大村市竹松本町859-1 (TEL 0957-46-3788)

■募集期間 ■
1次締め切り: 2018年9月28日(金)必着

立候補予定者決意表明

(衆議院長崎第3区 予定候補者)



山田 勝彦

8月30日(木)18時30分~立憲民主党 福山幹事長にお越し頂き、長崎県連の設立大会を行いました。なぜ、立憲民主党が長崎に誕生したのか?先の衆院選、候補者不在の中「立憲民主党」と書いて頂いた9万7千人の県民の皆さん、そして多くの方々のご支援のおかげで、この日を迎えることができました。心より感謝申し上げます。安倍政権の暴走を止めるため、他の野党や市民の皆さんと一緒に力を合わせていきたいと考えております。これから長崎に新しい政治の流れを創り、県内各地域に仲間を募り、長崎の地から日本の政治を変える、その決意でございます。

(県議大村市区 予定候補者)



牧山 大和

「子ども達により良い社会を引き継いでもらう」その為には、先ずは「懐」という危険性を取り除いてあげたい。それから、安全な食、水、土、自然を残してあげたい。そして、誰もが生まれた環境に左右されず、学ぶことをあきらめなくてよい教育環境を整えてあげたい。そう強く思います。ここに挙げた問題は、どれも「利権」や「しがらみ」によるもの、つまり「まっとうな政治」が失われてしまったからに他なりません。みんなの声をきちんと反映する社会を、みなさんと一緒に実現していきます!

(県議長崎市区 予定候補者)



赤木 幸仁

前回の長崎県議会議員選挙で赤木幸仁は負けました。ただ忘れていく長崎の現状が悔しかった。二世議員でも、組織出身でもない。純粋に選挙に挑み、そして敗れました。残ったのは、30歳、無職、独身、貯金無し。のあまりにも悲しい窮乏でした。それから3年の間にもう一度原点に立ち返り、変わることない「志」を一層強くし、行動してきました。長崎でたくさんの笑顔が集う場をつくるため、ワクワクする未来をつくるために、これまでの活動をさらに前進させ、また、サポートするために再び立ち上がります。どうか皆さん力を貸して下さい。

第一期 立憲民主党 県連合役員

立憲民主党長崎県連合 代表 立憲民主党長崎県第3区支部長 山田勝彦	立憲民主党長崎県連合 副代表 長崎市議会議員 中村照夫	
立憲民主党長崎県連合 副代表 元長崎県議会議員 陣内八郎	立憲民主党長崎県連合 副代表 五島市議会議員 草野久幸	立憲民主党長崎県連合 副代表 平戸市議会議員 小山田輔雄
立憲民主党長崎県連合 幹事長 諫早市議会議員 松永隆志	立憲民主党長崎県連合 幹事長代理 第3区支部 幹事長 牧山大和	立憲民主党長崎県連合 副幹事長 赤木幸仁